



Now 在宅診療

作品で出されてい
そのシリーズの中
日は『人生の壁』と
作品を読みました。

作品で出されています。ことが書かれています。
そのシリーズの中でも、先
日は『人生の壁』という
作品を読みました。
その中で、昨今はヒト
を在宅診療の役割に関連
して改めて考えたいと思

消されない場合は、地域ネットワークに繋げ、返し行う必要があるだろ
うと思します。その患者さんに最適解を見つけるように働きかけます。

人と関わる大切さ
とヒトの尊厳には意味がないで、在宅医療はそれ
ないと合理的に考へて、られることの一つに患
明けましておめでとう 集まり 자체が「コロナの影
じます。今年もよろ 韻もあります。個々の患者さんにとっての
しくお願ひします。 の社会が加速している、安心感を築き上げる
さて、私の好きな作家個になることで、個人のことがあると思います。に、言葉にはできない考
に、養老孟司先生がいら 不安感が強くなり、心の患者さん側に立てば、家
しゃつて、壁シリーズを 安定が得られないという えや感情、空気感といつ
についても病気のことで相たるものがあります。全員

松原 清二医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

にいても病気のことと相談ができるとして、日頃の心の些細な機微や自分の生活環境や家族背景を理解してもらっていると、いつの安心感が挙げられますが、患者さんは大変な作業ではあります。その中で不安が解けたものがあります。全員が納得できる最適解を探りますが、患者さんは、家族と話をしながら、人生の歩みを伴走していく人生会議(ACP)を繰り

[まつばらホームクリニック]
☎ 042-439-1250
matsubarahomeclinic@gmail.com
西東京市東町 4-14-18-2F
■電話対応：午前9:00～午後6:00
■定休日：土日（祝日は診療）
■訪問地域：西東京市、東久留米市、新座市、稲城市一部
[まつばらホームクリニック] 検索